

# 競 技 注 意 事 項

- 1 本記録会は2017年度日本陸上競技連盟規則及び本記録会の申し合わせ事項により実施する。
- 2 競技者の招集について

- (1) 招集場所は、フィニッシュ後方青い屋根の小屋の中に設ける。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻はすべてその競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前	棒 高 跳	50分前	40分前
フィールド競技	40分前	30分前			

(3) 招集方法

- ア. 競技者は、出場種目の招集開始時刻までには招集所に集合する。プログラム記載の招集開始時刻より点呼を始め、招集完了時刻には各競技場所へ移動を開始する。
- イ. 当該競技を棄権する場合は、必ず棄権届けを招集開始時刻前までに競技者係に提出すること。
- ウ. 他の種目とほぼ同時時刻に兼ねて出場する競技者は、予め2種目同時出場届を提出し、その旨を必ず競技者係に申し出ること。(トラック競技を優先とする)
- エ. リレー競技のオーダーの提出は、その種目の招集完了時刻の1時間前とする。

- 3 選手は、その競技に出場する以外はトラック・フィールドに立ち入ることはできない。

4 ナンバーカードについて

- (1) オホーツク管内の選手のナンバーカードは割当番号を各自用意すること。管内で割当番号がない者及び管外からの申込者のナンバーカードは、主催者が交付したものを使用すること。なお、大会終了後返却をお願いします。ナンバーカードは、縫い付けるか安全ピンで確実に止めること。
- (2) 跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部のいずれか一方でよい。
- (3) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所点呼の時受け取り、右腰やや後方につけること。
- (4) 3000m以上のトラック競技は、レーンナンバーカード(胸・腰)を使用する。

- 5 トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載された通りとする。

- 6 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は下記の通り行う。

走高跳	中学男子	1.20・1.25 (以降5cmずつ)	1.60・1.63 (以降3cmずつ)
	中学女子	1.10・1.15 (以降5cmずつ)	1.40・1.43 (以降3cmずつ)
	男子	1.40・1.45 (以降5cmずつ)	1.80・1.83 (以降3cmずつ)
	女子	1.20・1.25 (以降5cmずつ)	1.50・1.53 (以降3cmずつ)
棒高跳	中学男子	1.80・2.00・2.20・2.40 (以降10cmずつ)	
	男子	3.00 (以降10cmずつ)	
	女子	1.80・2.00・2.20 (以降10cmずつ)	

※開始のバーの高さは変更する場合もある。

※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする。

- 7 ボール以外の用器具は競技場備え付けの物を使用する。ただし、投てき用具は検定の上使用してもよい。

- 8 競技場はトラック・フィールドとも全天候型ウレタン舗装のため、全天候型スパイクピン(9mm以下)を使用しなければならない。

※ 砲丸の重さ

区分	男子	高校男子	中学男子	女子	中学女子
重さ	7.260kg	6.000kg	5.000kg	4.000kg	2.721kg

※ 円盤の重さ

区分	男子	高校男子	女子
重さ	2.000kg	1.750kg	1.000kg

※ハンマーの重さ

区分	男子	高校男子	女子
重さ	7.260kg	6.000kg	4.000kg

※ JH・YHの設置

	ハードルの高さ	スタートから第1ハードルまで	ハードル間
男子JH	0.991m	13.72m	9.14m
女子YH	0.762m	13.00m	8.50m